

保健だより

2025 年 令和 7 年 5 月号(第 491 号)

発行 那覇市こども教育保育課 ☎098-861-2113

5 月5日からの1週間は こどもまんなか 児童福祉週間 です。

今年の標語 「いつだって まんまるまんなか こどもたち」 (村田 六花さん 18 歳 兵庫県)



この時期にかかりやすい感染症

溶連菌感染症

○溶連菌という細菌に感染することで発症します。急な高熱やのどの痛み・腫れ、舌にイチゴのようなぶつぶつができる(いちご舌)などの症状が特徴的です。

咽頭結膜熱

○特に夏季に流行します。高熱や扁桃腺炎、結膜炎が主な症状です。感染力が強いため、タオル等の共有は厳禁です。

手足口病

○昨年は秋頃に警報が出されました。原因のウイルスが複数あるため、何度でもかかる可能性があります。口の中や手のひら、足の裏に水疱(水ぶくれ)を伴う発疹ができます。喉の痛みから飲み込みができず、食事や水分摂取が少なくなることがあります。

ヒトメタニューモウイルス感染症

○感染すると呼吸器症状(咳、鼻水など)が出ます。乳児では重症化する恐れがあります。

参考:「保育所における感染症対策ガイドライン(2023 年改訂版)」こども家庭庁

お子さんの様子がいつもと違う時は登園時に職員に伝えてください。
また、発熱や症状があるときには、かかりつけ医の受診をお願いします。



こどもたちは新しい環境に少しずつ慣れ、自分のペースで楽しめるようになってきた頃でしょうか。一方で、大型連休があるため、生活習慣が乱れがちになります。体や心に疲れが出て、けがをしたり、体調を崩したりしやすい時期でもあります。規則正しい生活を心がけ、元気いっぱいに過ごせるようにしましょう！

感染症にかからないために・・・

手洗いはいちばん基本的な感染症予防策です。

外出から帰宅したとき、食事の前、トイレの後など、手を洗う習慣をつけ、ご家族で感染症を予防しましょう。



休日・夜間の急病の対応について

お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけ医のほか、近くの救急病院などの診療時間を確認しておきましょう。

こども医療でんわ相談 **#8000**

休日・夜間の急な症状で受診をさせた方がよいか、判断に悩む場合にご利用ください。小児科医・看護師に相談ができます。



乳幼児健診を受けましょう！

乳児健診・1歳6か月健診・2歳児歯科健診・3歳児健診の対象時期になると案内があります。親子健康手帳アプリ「なは DE 子育て」by 母子モもしくは、お電話にて予約をお願いします。

お問い合わせ先 那覇市保健所 地域保健課 ☎098-853-7962